

数字で見るといろいろ

今年11月に、厚別区と分区して20周年を迎える白石区。
時間の経過とともにさまざまな変化を遂げてきました。
今月は、分区当時と現在の統計数字を比較しながら、白石区の姿をご紹介します。



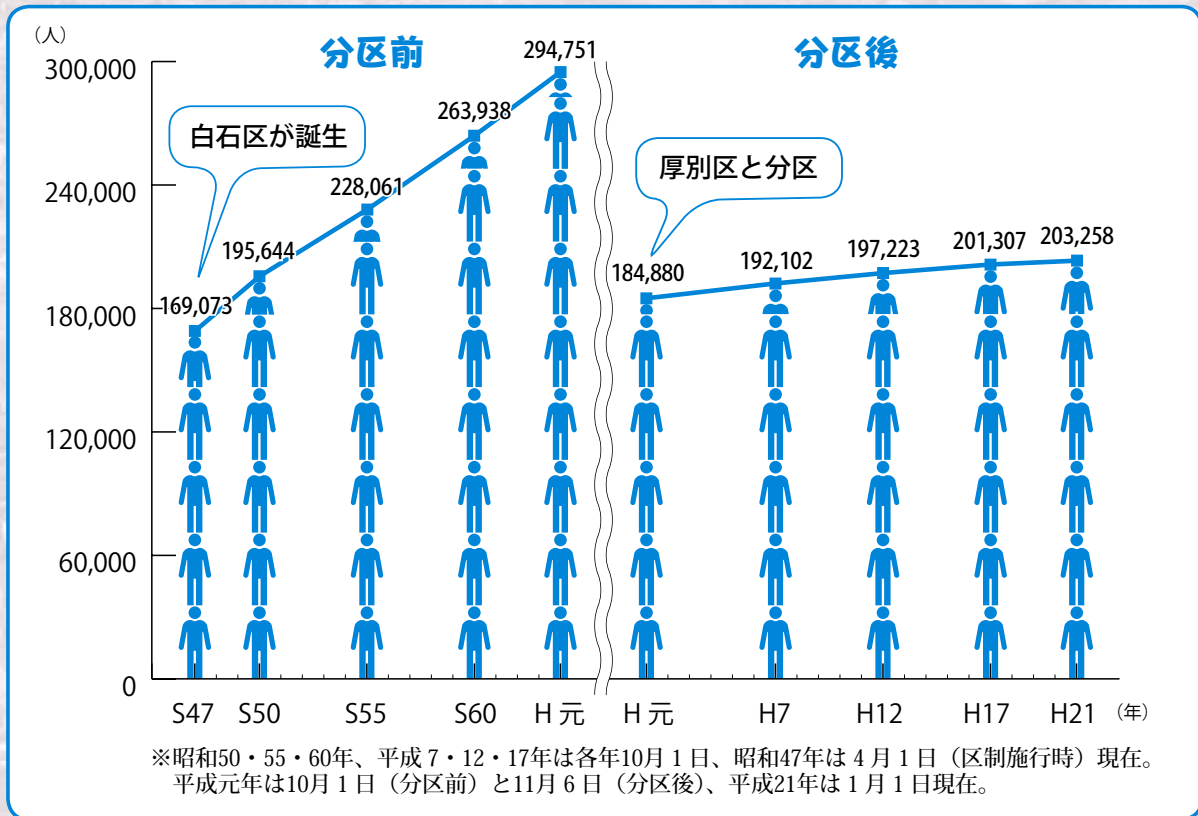
急増していた人口は、分区前月には294,751人までになりました。分区後も現在に至るまで緩やかながら年々増え続けており、北区、東区、中央区、豊平区、西区に次いで6番目の規模です。

現在 **203,258** 人
(平成21年1月1日現在)

白石区の始まりは67人!?

分区当時 **184,880** 人
(平成元年11月6日現在)

明治4年11月に旧仙台藩白石領（現在の宮城県白石市）の藩士67人が移住したことが白石区の始まりと言われており、**移住後137年で人口が約3,000倍に増えた計算になります。**さらに分区した**厚別区の人口も加えるとなんと約5,000倍にもなります。**



人口密度は、10区中最も高くなっています。
また、区民1人当たりの面積は約170㎡で、区民センター「区民ホール」の半分ほどの広さです。

人口密度

現在 **5,877.9** 人/km²
面積 **34.58** km²※
(平成21年1月1日現在)

白石区は単身世帯が多い!?

平成17年の国勢調査では、全世帯の**43.3%**が**単身世帯**。
中央区の52.5%に次いで高い割合になっています。
(平成17年10月1日現在)

分区当時 **5,382.2** 人/km²
面積 **34.35** km²
(平成元年11月6日現在)

白石区は働き盛りの人が多い!?

白石区では、**30歳代の人**が**区民全体の18.2%**を占めています。
これは10区で比較しても一番高い割合です。
(平成20年10月1日現在)

※面積の増加は、国土地理院の発表面積・境界の修正に基づくものです。

